

## 雪野原

雪雲さえ貫いて  
私の許に届く淡い陽光

おお、生ある者は全て  
お前によって穿たれ、儂きものとなる

だが冬こそはうつろいの凍る季節<sup>とき</sup>  
私の放浪の季節

貪欲なるものは己が中に閉じこもり  
降り積もるものはただ白、また白

静寂にふるえ戦く心がもがき  
仮面を脱ぎ棄てて壁に縋る

陽光よ、見るがいい  
お前の包んでいた世界の裸の姿を

これこそが私の抱き上げる者達なのだ  
お前を神と頼む者達なのだ

(1992.2.13)